

公益財団法人日本バレーボール協会 2015 年度第 2 回理事会(定例) 概要

1 日 時 : 2015 年 6 月 8 日(月) 14 : 00 ~ 16 : 00

2 会 場 : 東京体育館第 1 会議室

3 出席者 :

理事総数 15 名

出席理事 11 名

代表理事代行 岩満一臣

理事 大塚慶二郎、川合正矩、小島和行、下山隆志、竹内浩、西脇克治、
羽牟裕一郎、林義治、村松泰子、福本ともみ

監事総数 3 名

出席監事 2 名 大西浩志、高橋治憲、

4 議 長 : 代表理事代行 岩満一臣

5 決議事項

- (1) 第 5 期 (2014 年度) 決算について
- (2) 第 5 期 (2014 年度) 事業報告について
- (3) 定時評議員会の開催及び目的事項について
- (4) 役員報酬及び非常勤役員手当への支給について
- (5) 次期役員候補者推薦決議について

6 議事の経過の要領及びその結果

代表理事代行が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。続いて議事録記名押印理事に大塚理事を選出した。

議題に入る前に岩満代表理事代行より、進行の関係から「次期役員候補者推薦決議について」は他の全ての議事・報告の終了後に行う旨の提案がなされ、了解を得た。

(1) 第 5 期 (2014 年度) 決算について

小島事務局長代行より、第 5 期 (2014 年度) 決算概要説明を、また、事務局安藤経理部長より詳細説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

当期の収入は、事業収入が、1,443,740千円、その内容は協賛金収入871,130千円、入場料収入241,959千円、業務受託料32,140千円などが主なものである。これらに受取メンバー制度登録料191,875千円、受取補助金・交付金等224,317千円等を加えると、当期収入合計は1,872,074千円となる。

この結果、税引前当期一般正味財産増減額は△10,275千円となり、これに法人税等70千円を計上した税引後当期一般正味財産増減額は△10,345千円となった。

当初約600万円の黒字予算から始まったが、最終的には約1,000万円の赤字となった。

収入自体は予算に対して4,800万円上回った。これは、協賛金の3,800万円増、興行権・放映権収益の1,800万円増が貢献した。

JVA全体の収入支出は各事業部と連鎖しているため、一概に判断することはできないが、今期の赤字に繋がった幾つかの要因を挙げれば、数字上ではバレ友の会費収入の減額やビーチバレーボール事業の協賛金の減額、また、強化事業活動費、ビーチバレーボール事業活性化のための人件費や海外合宿増等が該当する。

【監査報告】

続いて、大西監事より下記のように監査報告が行われた。

公益財団法人日本バレーボール協会の第5期（2014年4月1日～2015年3月31日）の業務及び財産の状況等について監査したところ、適正かつ公正に処理されており、その内容が事実であることを認める。

また、理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められない。

*第5期計算書類の詳細は資料の記載のとおり。

(2) 第5期(2014年度)事業報告について

小島事務局長代行より第5期（2014年度）事業報告について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

【事業の概況】

(1) バレーボール 2015 宣言

2015年1月に「バレーボール 2015 宣言」を発表した。本会は、宣言に示したバレーボールがもつ特性である“つなぐ”をキーワードに『JVAはバレーボールの“つなぐ力”を世界に育みます』を通じて「自分のからだところの“つながり”」「自分とひととの“つながり”」「ひととひととの“つながり”」を大切にするひとを育むことを基盤とし、今後各種事業を執り行う。

(2) Project CORE

2014年6月に立ち上げたProject COREは、JVAの強化、発掘育成、指導普及の考え方を系統的にまとめたものである。これを基に指導方法の策定、普及事業の充実、長身選手の発掘そして選手強化の目的を定め、2016年のリオデジャネイロオリンピックそして2020年の東京オリンピックに向けて、Team COREを設置し、男子10名、女子8名を集中強化する強化体制を整えた。

(3) ビーチバレーボール事業本部

オリンピック競技でもあるビーチバレーボール競技の強化・普及・発展を目指し、2015年1月にビーチバレーボール評議会をビーチバレーボール事業本部とした。

(4) 主な日本代表の戦績

- ①全日本女子は2014年8月に開催されたワールドグランプリファイナルにおいて2位となり、22回の大会開催を通じて初のメダルを獲得した。しかし、イタリアにて開催された世界選手権では第3次ラウンド進出を逃し、7位となった。
- ②Team CORE・女子では、ジュニアチーム(U-19)がアジア選手権において2位、ユースチーム(U-17)がアジア選手権において優勝し、2015年に開催される世界選手権の出場権を獲得した。
- ③全日本男子は9月から10月に開催されたアジア競技大会にて2位となった。
- ④Team CORE・男子では、ユースチーム(U-18)が2位となり2015年に開催される世界選手権の出場権を獲得し、ジュニアチーム(U-20)は5位となり世界選手権の出場権を逃す事となった。
- ⑤ビーチバレーボール競技は、南アフリカ共和国にて開催されたビーチバレーボールオープン2014 マンガウング大会において西堀健実、溝江明香ペアが日本チームとしては14年ぶりとなる国際バレーボール連盟主催大会における銀メダルを獲得した。
- ⑥本年度から新たにシリーズA(男女各24チーム参加)を全国5開催地にて開催した。

(5) 5月に競技会外検査、12月に競技会検査において陽性反応が確認された2件のドーピング防止規則違反の疑いは、それぞれ資格停止処分となり、本会においても制裁措置を課した。フェアプレイの観点からもスポーツをする者としてあってはならないことであり、再発防止に向けて各種取り組みを見直し、それに基づく対応を実施していく。

(6) 体罰・暴力の窓口相談件数が、約30件あり、随時対応した。

(7) 決算について

本年度より四半期ごとに執行状況を分析し、費用の削減など本会、関係団体、関係者の皆様のご協力を得ながら財政改善に取り組んだが、2020年に向けてビーチバレーボール事業を強化したことなどもあり、残念ながら10百万円の赤字となった。

※事業の詳細は資料の記載のとおり。

(3) 定時評議員会の開催及び目的事項について

小島事務局長代行より、定時評議員会の開催及び目的事項について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

1. 日 時： 2015年6月22日（月）11:00～13:00

2. 場 所： エステック情報ビルD会議室（新宿）

3. 決議事項

(1) 第5期計算書類等の承認の件

第5期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録)の承認を受ける件

(2) 定款の変更及び追加に関わる件

「理事のうち3名以内の副会長を置くことができる」及び「参与若干名を置くことができる」ものとするための定款の一部修正及び追加に係る件

(3) 評議員の報酬規程の一部改定について

現行の職員給与規程と整合性をとり、事務の簡素化を図るため一部評議員報酬規程の改定を行う件

(4) 理事選任の件

任期満了に伴い、定款の定めによる理事15名以上20名以内選任の件

4. 報告事項

(1) 第5期事業報告の件

(2) 評議員の任期満了及び辞任について

(4) 役員報酬及び非常勤役員手当の支給について

小島事務局長代行より、5月18日に開催された第1回理事会（臨時）にて、羽牟代表理事、西脇業務執行理事の両名が解職され、同日をもって常勤役員から非常勤役員に変更されたことに伴い、下記2点の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

- ・常勤役員としての月額報酬は5月18日をもって打ち切られる。
- ・非常勤役員は、他の理事・監事（非常勤）と同様に本会の役員報酬規程の別表2の等級リスト第2号（日額15,000円）を適用する。

(5) 次期役員候補者推薦決議について

役員候補者推薦委員である大西監事より以下の通り説明がなされ、候補者 20 名を一括無記名投票による決議にて賛否を諮り、これを承認可決した。

5月18日に開催した臨時理事会にて、20名の次期役員候補者推薦リストが否決されたことを受け、新執行体制のもと、新たに役員候補者推薦委員会メンバーが7名選任された。メンバーは西川友之（評議員）、岩満一臣（代表理事代行）、小島和行（理事）、大西浩志（監事）、安藤和夫（事務局）、寺田朗子（外部委員）、岡田晋平（外部委員）である。

5月29日に開催された役員候補者推薦委員会にて「①財務体質の強化②ガバナンスの強化③オリンピックに向けての強化④女性の活躍⑤役員の新陳代謝」の5つの観点から人選が行われ、審議の結果、委員会として21名の次期役員候補者推薦案を決定した。その後、推薦候補者1名より、理事候補を辞退する申し出があった為、本日20名の次期役員候補者推薦案が理事会に提出された。

本日の理事会では役員候補者推薦委員会によって取り纏められた役員候補者推薦案の中から、理事会として、評議員会に推薦する候補者を決定する。

7 報告事項

(1) 2015年度第1四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2015年度第1四半期の職務執行報告が、岩満代表理事代行及び業務執行理事、強化事業本部長より行われた。主な報告内容は以下の通りである。

【岩満代表理事代行 M&M 事業本部本部長】

- ①2014/15Vプレミアリーグファイナル来賓対応
- ②全日本男子紅白戦・全日本女子イベント 挨拶
- ③天皇杯・皇后杯全日本選手権実行委員会 出席
- ④北信越・九州・東海ブロック理事長会 出席
- ⑤スポンサー契約締結業務
- ⑥バレーボールステーション@原宿開店
- ⑦平成27年度公認・推薦認定作業

【小島事務局長代行・ビーチバレーボール事業本部長】

- ①2015 シリーズ A 開催準備
- ②グラندスラム横浜大会準備
- ③第1回事業本部会 開催

- ④全国ビーチバレーボール審判講習会 挨拶
- ⑤AVC 理事会(バンコク) 出席
- ⑥役員候補者推薦委員会 出席

【羽牟理事】

- ①全日本男子チーム記者会見 出席
- ②FIVB 理事会 出席
- ③JOC 竹田会長 表敬訪問
- ④加盟団体代表委員総会・懇親会 出席
- ⑤黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 挨拶
- ⑥トヨタ社との打ち合わせ

【西脇理事】

- ①メディカル委員会との連携によるアンチドーピング対応
- ②2017、2021WGCC 契約交渉業務
- ③2020 東京オリンピックプレキャンプ対応
- ④全日本女子チーム記者会見対応
- ⑤JVA 新試合情報管理システム (JVIMS) 動作確認
- ⑥AVC 東アジア地区男女選手権大会 役員出席
- ⑦AVC アジアシニア女子選手権大会 役員出席
- ⑧日韓 V リーグ TOP マッチ視察

【下山業務執行理事 国内事業本部本部長】

- ①ソフトバレーボール連盟代表者会議 出席
- ②国内事業本部会 出席
- ③岩手・愛媛国体の打ち合わせ 出席
- ④AVC アジアシニア女子選手権大会 役員出席
- ⑤黒鷲旗代表者会議 出席
- ⑥天皇杯・皇后杯実行委員会
- ⑦ヤング連盟代表者総会 出席

【荒木田強化事業本部本部長】

- ①発掘・育成ミーティング 出席
- ②記者会見対応 (シニア男女チーム)
- ③全日本女子シニアイベント (沖縄) 参加
- ④JOC リオ対策会議 出席
- ⑤文科省スポーツ青年局関係者 練習視察
- ⑥モントルーバレーマスターズ 帯同

(2) 功労者Ⅱ表彰について

岩満代表理事代行から、第6期（2015年度）第1回功労者Ⅱ表彰として下記の方の表彰を行う事が決定したとの報告があった。

○第6期（2015年度）第1回功労者Ⅱ表彰者

井ノ口 良雄 （三重県バレーボール協会 参与）

服部 長務 （岐阜県バレーボール協会 参与）

以上をもって議事の全ての審議を終了したため、議長は16時00分に閉会を宣した。